

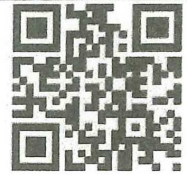
選挙公報【詳細版】

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 島根県)

- ①コールサイン : JA4DND
②氏名(フリガナ) : 松浦博美(マツウラヒロミ)
③年齢 : 75
④職業 : 農業
⑤無線従事者資格 : 1アマ

力を入れている無線活動

- <1>DX交信(160m~6m)
<2>FEDXP(Far East DX Ploitors)を通じた国際交流活動
<3>HAM FAIR、HAM RADIOでのブース展示
<4>FEDXP FOUNDATIONによるペディションなどの支援活動



JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

<1>紙QSLの大幅削減

- ◇LOTW及びOQRSの活用でBURO経由の発行は大幅に削減できた。
- ◇当局は年間4,000枚~5,000枚(2017年頃まで)BUROに送っていたが2021年以降はほぼゼロ枚。今後も最小限にする予定。
- ◇FEDXPのHPやML、さらにHAM FAIRのブースなどでDX'erへの紙QSLのBURO経由の発行は最小限にする旨のPR活動を計画。

<2>支部大会(ハムの集い)、関ハムなどのイベントの講演サポート

- ◇DXペディションのJAの支援活動の内容などの講演、PR活動
- ◇直近10年の主な実績
 - ・JAのドネーション文化の変遷と今後の課題(2024 関西シンポジウム)
 - ・アマチュア無線の楽しみ方(2023 ハムの集い島根)
 - ・HAM RADIO参加報告(2023 ハムの集い島根)
 - ・VP8STI/VP8SGI 攻略法、考察(2016 関ハム)
 - ・BAND PLANについて(2014 ハムの集い島根)
 - ・ドイツHAM RADIO2014報告(2014 支部大会)
 - ・PCによるローテーター制御(2013 ハムの集い島根)

<3>体験運用対応、JARL記念局(固定局1kW, HF)運用

- ・2023年8月 “ハムの集い島根”で体験運用対応PR。
- ・8N40LP開設運用実績

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(中国)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 島根県)

- ①コールサイン : J J 4 Q K Y
②氏名(フリガナ) : 河村 博 (カワムラ ヒロシ)
③年齢 : 62 歳
④職業 : 会社員
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

- ① ボイス通信及びデジタル通信で交信
② コンテストに参加
③ アイボール会やジャンク市等を計画しております。
④ ハムの集い等に参加し準備運営等支援しております。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

- ① 会員増強のために様々な機会を捉えアマチュア無線を知ってもらい始まりのきっかけになっていただく機会を作って、サポートしていきたいと思っております。
② Q S Lカード転送業務の転送数軽減のために、ローカル局希望者には電子Q S Lソフト等のインストロール及びサポート等を今後とも取り組んでまいります。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(中国)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 山口県)

- ①コールサイン : JH4NHF
②氏名(フリガナ) : 末廣則夫(スエヒロノリオ)
③年齢 : 77歳
④職業 : 農業
⑤無線従事者資格 : 第2級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

JARL山口県支部の役員として35年以上運営に携わって現在に至っております。毎月の支部役員会ではJARL理事会報告の詳細・背景などをご説明し最新情報の共有に努めております。地域の無線団体で毎月会報を発行し、電波法改正など国の動きJARLの動向などをいち早くお伝えしております。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

JARLの理事会報告やJARLの最新情報についてできるだけ山口県支部役員や地域団体にお伝えして情報を共有し、皆様のご意見・ご要望を吸い上げて、山口県支部長・中国地方本部長とのZOOM meetingでご提案しておりますが、今後もこれらの活動を継続してモノ言う社員として尽力いたします。

また、JARL主催のコンテストだけでなく各地方開催のコンテストにも極力参加し、ARDF競技もA級審判員として可能な限り参加してアマチュア無線界の活性化の一助として取り組んでおり、今後もこれらを継続して行く所存です。

地域の無線団体では毎月会報を発行し、月2回のコンテスト(通常のQSO、非常通信訓練)・年2回のFox Hunting(オープン参加)等を通じてJARL及びアマチュア無線界の更なる発展に勤めてまいります。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(中国)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 広島県支部)

- ①コールサイン : JN4THO
 ②氏名(フリガナ) : 猶崎 光(ナオサキ ヒカル)
 ③年齢 : 37歳
 ④職業 : 電気主任技術者
 ⑤無線従事者資格 : 第1級アマチュア無線技士

力を入れている無線活動

開局してから、平成30年に戸建て住宅に転居するまで、ずっとアパマンハムでしたので、移動運用を中心に楽しんでいました。8エリアを除く各地方で移動運用をしました。北海道で運用することが夢です。CWとFT8が大好きです。最近はお出張が多くIC-705をカバンに入れて全国各地でQRP運用を楽しんでいます。アマチュア衛星にも取り組んでいます。D-STARにQRVできるよう只今勉強中です。

JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)

平成14年 広島県立福山工業高校アマチュア無線クラブ JA4YAH 入部
 平成15年 SWLを始める。JA4-39826 准員入会
 平成16年3月 第四級アマチュア無線技士 広島県深安郡神辺町でJN4THO開局
 平成16年 HAM Journal キュビカルクワッドのすべて 高校生ハム掲載
 平成17年 鳥取市に転居
 平成17年 第二級アマチュア無線技士
 平成20年 広島市西区に転居
 平成23年 広島県福山市に転居
 平成24年 第一級アマチュア無線技士
 平成26年 フランス・パリにてF/JN4THO
 平成27年 WIRES-X #12189 開設
 平成29年 アメリカ合衆国ハワイ州にてAPRS運用
 平成30年 広島県府中市に転居
 令和3年 広島市東区へ新幹線通勤 道中のAPRSと鉄道無線を楽しむ
 令和4年 JARL広島県支部運営委員(会計)・JARL広島県支部監査指導委員

私は小中学生にアマチュア無線技士国家試験学習・従事者免許取得後に交信のサポートをしています。会員減少のみならず急速な高齢化へ向かうJARLにおいて青少年の支援は最重要課題の一つと考えます。総会においては各議案を精査して議決権行使します。必要に応じて予め準備書面をもって質問します。建設的な提言を行いJARLの明るい将来を築くため実りある社員総会にしたいと思っております。一方で、「私的な費用支出」や「理事会を軽視した業務執行」には反対します。わたしは特定の会派には属しておらず議案に対して賛成すべきは賛成し、反対するときは毅然と反対しながらも批判や追及のみを前面に出すのではなく、建設的な提案を出す姿勢を貫き、議論を前に進めていく所存です。

令和6年通常選挙 地方本部区域毎の社員(中国)

●地方本部区域毎の社員の立候補者(所属支部名 山口県)	
①コールサイン	: JA4LKB
②氏名(フリガナ)	: 上田 茂 (ウエダ シゲル)
③年齢	: 67歳
④職業	: 無職
⑤無線従事者資格	: 第1級アマチュア無線技士、第1級無線技術士
力を入れている無線活動	
<ul style="list-style-type: none">●JARL山口県支部企画委員として支部の運営に携わっている。●山口電波適正利用推進員を中国総合通信局長の委嘱を受け、若者への電波関係の啓蒙活動を行い、その活動の中でアマチュア無線の存在や継承を促す努力をしている。●160～6mまでDX交信を中心に活動している。	
JARLに対して自分ができる貢献(具体的に)	
<ul style="list-style-type: none">●JARL山口県支部の企画委員として運営に携わると共に、JARL主催のコンテストには、CW運用などで可能な限り参加している。●ARRLのDXCCアワードのカードチェッカーを委嘱され、JARL業務としてハムフェアや地域のハムの集いなどでDXCCアワード申請者のためのQSLカードチェック業務を行っている。●2021(5/1～9/5)間、東京オリンピック・パラリンピックが開催された際、海外向けオリパラ記念局の開設を委託され4エリアで免許を与えられた8J4OPLの2局のうち1局をJA4LKB(1Kw固定局)の設備を共用して運用し約1万QSOのサービスを行った。●2019年6月、ドイツFDHで開催された「HamRadio」において、JA1HGY間下氏、JA4DND松浦氏、ウィーン在住のJH4RHF田中氏と私JA4LKBの4人でJARLブースの運営を委嘱されJARLの広報活動を行いました。	